

宇宙食・健康認定士制度 ～認定を受けるために必要な手続きについて～

説明者

日本栄養・食糧学会

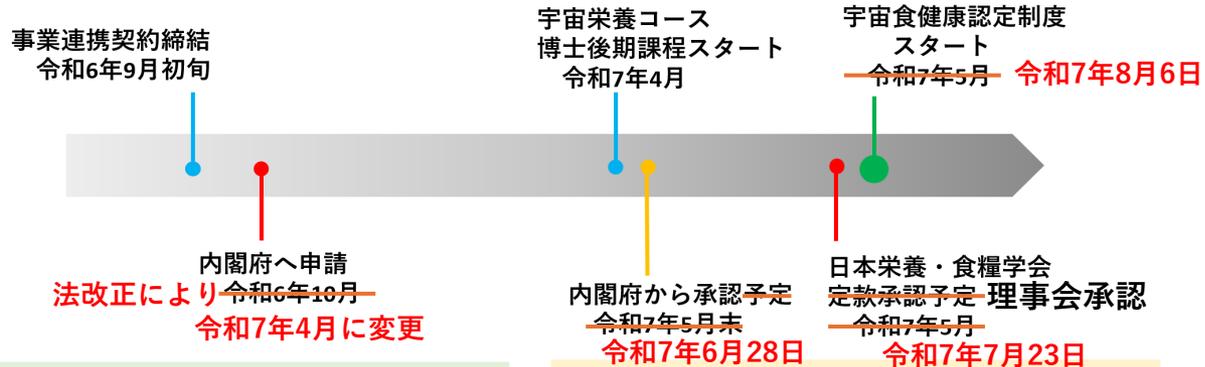
宇宙・食糧委員会 委員長 二川 健

「宇宙食・健康認定士制度」の発足の経緯

(経緯) 令和4年度に、公益財団法人日本栄養・食糧学会において宇宙食専門認定制度についての検討委員会を立ち上げた。令和5年度は、徳島大学大学院に宇宙栄養コースが開講したので、検討委員会の会合の回数を増やし、宇宙専門管理栄養士制度の設置に向けて精力的に活動を行った。同時に、日本栄養士会、厚生労働省、文部科学省の関連部門の方々と面談し、必要な規約等の素案を作成した。その後、内閣府へ認定の相談に伺ったところ、定款変更の必要性などの要求があったため、実施を1年間延期することとした(業務計画変更届けを提出し、認可済み)。令和6年度は、日本栄養・食糧学会の庶務幹事打合せ会、理事会を経て、10月再度内閣府に「宇宙食・健康認定制度(案)」を提出したところ、概ね了承を受け、令和7年度5月より実施予定となった。

日本栄養食糧学会による宇宙食健康認定制度

宇宙食健康認定制度とは、宇宙食や宇宙環境での健康に関連した学問に関する知識を得ることにより、宇宙環境や災害時などの特殊な環境における健康科学や食事の研究の推進に資する意思があり、人類の安全・安心な生存圏の拡大に資する人材の育成を目的とした、日本栄養・食糧学会が認定した制度のことである。



◇宇宙食健康認定士 (称号)

宇宙食健康認定士とは・・・宇宙食や宇宙環境での健康に関連した学問について修士レベルの知識と経験を有する者に与える称号である。

◆称号取得後の活躍の場

企業の食品開発、大学教員

◇宇宙食健康指導士 (称号)

宇宙食健康認定士とは・・・宇宙食や宇宙環境での健康に関連した学問について博士レベルの知識と経験を有する者に与える称号である。

◆称号取得後の活躍の場

JAXAや国立健康・栄養研など国立の研究施設や大学教員

「宇宙食・健康認定士」の認定を受けるには

宇宙食・健康認定士制度に関する規程

第3章 本認定資格の認定

■第1節 本認定資格の認定を申請する者の条件

第6条 宇宙食・健康認定士の認定を申請する者は、申請日において次の各号の条件を全て満たす者であることを要す。

1) 本学会の学会員（正会員又は学生会員）であること。

2) 次の①又は②のいずれかを満たすこと。

①次の㊦及び㊧の両方を満たすこと。

㊦修業年限4年以上の大学を卒業し、かつ、別表第1に定める本学会協力機関が実施する履修プログラムを修了していること。

㊧『日本栄養・食糧学会誌』（和文誌）又は『Journal of Nutritional Science and Vitaminology』（英文誌）などの学術雑誌（以下、「学術雑誌」という。）に、「宇宙などの特殊環境における食、栄養若しくは健康」に関する論文（和文も含む）又は総説（和文も含む）が1報以上掲載されていること。ただし、筆頭著者である必要はない。**（過去5年以内の論文または総説でも可。ただし、一つの論文又は総説の使い**

②別表第2に定める大学院の課程を修了していること。 **回しは禁止**

3) 直近4年間に、本学会の主催する大会（支部大会も含む）において、「宇宙などの特殊環境における食、栄養若しくは健康」に関する研究成果を1回以上発表していること。

（共同発表者でもかまわないが、一つの演題の使い回しは禁止）

簡単に説明すると

①既に修士以上の学位を持っている方（宇宙栄養コースのない大学院を修了した方）

②宇宙栄養コースのある大学院を修了した方

で

認定に必要な条件がちがう。

①既に修士以上の学位を持っている方（宇宙栄養コースのない大学院を修了した方）が認定を受けるには

誠に申し訳ございませんが、徳島大学の提供する宇宙栄養コース履修プログラムを受講してもらうしか、現状方法がありません。

- 1) 日本栄養・食糧学会の学会員(正会員または学生会員) であること
- 2-①ア) 宇宙栄養コース特別履修プログラムを履修すること
- 2-①イ) 「宇宙などの特殊環境における食、栄養若しくは健康」に関する論文（和文も含む）又は総説（和文も含む）が1報以上掲載されていること。
- 3)) 直近4年間に、本学会の主催又は共催する大会（国際学会、支部大会を含む）において、「宇宙などの特殊環境における食、栄養若しくは健康」に関する研究成果を1回以上発表していること

上記の条件が満たされた時に、日本栄養・食糧学会に「宇宙食・健康認定士」の称号取得を申請することができます。その申請手続きについては、後述します。

宇宙栄養学コース履修プログラムとは

プログラムの目的

宇宙栄養コースのない大学院を出られた方に、宇宙食・健康認定士の称号取得する機会を提供する。

宇宙環境における健康科学や宇宙食の研究を推進。

人類の安全な生存圏の拡大に寄与する人材を育成。

プログラムの内容

- ・徳島大学大学院医科栄養学研究科の提供している宇宙栄養コースのWeb授業6単位（宇宙と栄養・医学概論、宇宙運動学、特殊環境栄養学の3科目合計45回の講義）を受講する。
- ・各講義受講後、課題レポートを徳島大学のWeb教育システムであるManabaにて提出する。

募集人員と履修期間

毎年、秋期と春期の2回の募集あり。

各期の宇宙栄養学コースの募集人数は20名。

秋期は10月1日より翌年の9月30日まで。春期は4月1日より翌年の3月31日まで。

（課題レポートの締め切りは、秋期は7月1日、春期は2月1日であるので注意）

履修資格

大学卒業生、学士の学位を持つ者、外国の教育課程修了者などが対象。

受講料

40,500円（徳島大学の定める1回あたりのWeb受講料900円より算出）

原則、一度振り込まれた受講料は返還しないので要注意。ただし、教授会で受講が認められなかった場合は返還する。

Web講義内容

【講義】 下記の内容を系統的に学ぶ：原則e-learning、通年6単位の講義

I. 「宇宙と栄養・医学概論」

1. 宇宙と栄養・医学概論
2. 有人宇宙活動
3. 宇宙空間と筋萎縮
4. サルコペニア・フレイルと栄養評価
5. 宇宙と腎臓
6. ビタミンDと宇宙飛行
7. 宇宙老化と代謝異常
8. 長期有人宇宙活動を実現するための閉鎖生態系生命維持システム
9. がん免疫チェック療法とAdenosin deaminase acting on RNA1
10. 宇宙生活と殺菌技術
11. 抗菌処理、抗菌加工品
12. LED植物工場の可能性
13. 宇宙植物栽培研究と月面農場
14. 宇宙で使われるLED
15. 未利用バイオ系廃棄物の利用技術

II. 「宇宙運動学/宇宙リハビリテーション医学」

- ・リハビリテーション医学・医療総論
1. リハビリテーション医学・医療の意義
 2. リハビリテーション医学・医療の歴史
 3. わが国におけるリハビリテーション医学・医療の現状
 - ・リハビリテーション医学・医療に必要な基礎医学
 4. 臨床解剖
 5. 循環・呼吸の臨床生理
 6. 骨格筋の解剖と生理
 7. リハビリテーション医学・医療に必要な運動学
 8. 不動による合併症
 - ・宇宙空間で行うリハビリテーション診療
 9. 診断のポイント、検査・評価法
 10. 訓練の進め方・ポイント・リスク管理
 11. 運動療法（筋力増強訓練と持久力訓練）
 12. 作業療法
 13. 電気刺激療法の基礎と実際
 14. リハビリテーション診療と栄養管理
 15. メンタルヘルスとその対応

III. 「特殊環境栄養学/災害栄養学」

1. 特殊環境の栄養学一般
2. 宇宙における栄養基準
3. 宇宙食と災害食の類似性
4. 災害時における栄養基準
5. 災害時における食・栄養の現状
6. 災害食開発の歴史
7. 日本災害食とは
8. 食品の保存・管理
9. 特殊環境での献立・調理・衛生
10. 栄養アセスメントのポイント
11. 宇宙における健康問題と栄養
12. 災害時等における健康問題と栄養
13. 要配慮者の栄養課題とおもいやり災害食
14. 災害時の食支援の実際
15. 遠隔地からの栄養支援・受援

宇宙栄養学コース履修プログラム履修の申請手続き - 1

徳島大学医学部 大学院案内を参照のこと

https://www.tokushima-u.ac.jp/med/graduate_school/nutrition_life_science/utyu-eiyougaku.html



本文へ ふりがなをつける 読み上げる 背景色: 白 青 黒 文字サイズ: 小さく 標準 大きく 徳島大学 English

徳島大学医学部
Tokushima University Faculty of Medicine

大学院医学研究科
大学院医科栄養学研究科
大学院保健科学研究科

サイト内検索 ご寄附のお願い

アクセス・キャンパスマップ お問い合わせ

学部案内 大学院案内 講座 研究活動 教育・学生生活 国際関係 入試案内 訪問者別メニュー

宇宙栄養学コース履修プログラム

トップ > 大学院案内 > 医科栄養学研究科 > 宇宙栄養学コース履修プログラム

【宇宙栄養学コース履修プログラム】

本プログラムは、公益社団法人日本栄養・食糧学会が認定する宇宙食健康認定制度における称号「宇宙食健康認定士」を希望する者に対し、その取得に必要な講義を提供することで、宇宙環境などの特殊環境における健康科学や宇宙食の研究の推進に資する意思があり、人類の安全・安心な生存圏の拡大に資する人材の育成を目指すプログラムです。

本プログラムは、研究科が開講している授業科目のうち、「宇宙と栄養・医学概論」「宇宙運動学」および「特殊環境栄養学」により構成されています。

大学院案内	
ポリシー	+
医学研究科	+
医科栄養学研究科	-
▶ 医科栄養学研究科の概要	

履修生募集要項

募集要項はこちらからダウンロードしてください。

- ・ R7 秋募集要項(宇宙栄養学コース履修プログラム) (PDF 276KB)

履修生許可願

こちらからダウンロードしてください。

- ・ 宇宙栄養学コース履修プログラム履修生許可願

講習料納付先

こちらから確認して振り込んでください。

- ・ 宇宙栄養学コース履修プログラム講習料納付先

宇宙栄養学コース履修プログラム履修の申請手続き - 2

必要書類

- 1) 所定の申請書類
- 2) 受講料を支払ったことがわかる書類のコピー

宇宙栄養学コース履修プログラム講習料納付先

阿波銀行（銀行コード :0172）本店営業部（支店コード :100）

口座種別：普通預金 口座番号：1282669

口座名義 コクリツダイガクホウジントクシマダイガクチョウ カワムラヤスヒコ
国立大学法人徳島大学長 河村保彦

履修申請期間と申請方法

1 申請期間

令和7(2025)年8月18日(月)から令和7(2025)年9月12日(金)まで 受付時間は、平日午前10時から午後5時まで。郵送、持参とも9月12日(金)午後5時までに必着のこと。

2 申請方法

郵送の場合は、

〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18番地の15

徳島大学大学院 医歯薬学研究部 生体栄養学分野 二川 健 行き

<履修申請書在中>と朱書きのこと

持参の場合は、徳島大学医学部学務に尋ねてください。

申請後、履修後のスケジュール

申請後のスケジュール

1) 履修許可の判定と通知

9月末の教授会で、履修資格を満たしているかどうかの判定を行う。
9月末日までに、履修許可通知を送付する。

2) 10月の早い段階で、オリエンテーションをWebで実施するので、必ず参加してもらいたい。

Manabaの受講方法を教える。

参加できなかった人には、後日メール等で通知する。

履修後のスケジュール

1) 翌年の7月1日までに、全講義のレポートを提出してください。

2) 翌年の9月中旬までに、レポートの採点を行う。

3) 翌年の9月末までに、合格者には履修修了証明書を配布する。

履修修了後のスケジュール

1) それまでに、「宇宙食・認定士」の称号付与のその他の条件を満たしていれば、上記の履修修了証明書のコピーとともに、日本栄養・食糧学会に申請する。

2) 申請締め切りは、その年の10月末を予定している。

「宇宙食・健康認定士」の認定の申請手続き - 1

日本栄養・食糧学会のHPを参照のこと（現在建設中、近日公開予定）

https://www.jsnfs.or.jp/spacefood/spacefood_about.html

Japan Society of Nutrition and Food Science
公益社団法人 日本栄養・食糧学会

学会ホーム サイトマップ English

サイト内検索

学会のご案内

- 会長あいさつ
- 目的・沿革・規程類
- 情報公開
- 役員・委員会
- 会員種別
- 学会表彰
- 栄養・食糧学基金
- 支部の活動
- 事務局

会員サービス

- 入会申し込み
- メールニュース
- 各種手続き
- マイページ入口

学会誌・出版物

- 日本栄養・食糧学会誌
- 英文誌: JNSV
- その他の出版物
- 引用許可基準

大会・イベント

- 年次大会・総会
- 大会講演発表DB
- 第23回 国際栄養学会議
- 学会イベント一覧
- 動画アーカイブ

宇宙食・健康認定士

- 概要・規定
- 資格取得方法
- 説明会アーカイブ

COI管理

- COI管理について

ようこそ 日本栄養・食糧学会へ

栄養・食糧科学の進歩普及によるさらなる健康増進を目指して

- 入会のご案内
- マイページ入口 (会員専用)
- データベース (アミノ酸DB)

- 令和7年度代議員選挙のお知らせ
- 学会創立75周年記念誌刊行のお知らせ
- 新代議員決定のお知らせ(令和5年度)
- インボイス制度に関わるお知らせ
- 寄付金に対する免税措置について
- 日本栄養・食糧学会誌が12月発行の第75巻6号より変わります

更新情報&トピックス

すべて | お知らせ | イベント | 公募・助成

【イベント】 「宇宙栄養コース」履修プログラムWeb説明会(2025年秋季履修生用)のご案内

【お知らせ】 令和7年度代議員選挙実施のお知らせ

【お知らせ】 令和8年度公益社団法人日本栄養・食糧学会 功労賞、学会賞、奨励賞、技術賞受賞候補者の募集

【公募・助成】 「栄養・食糧学基金」の助成対象者の募集

【公募・助成】 令和7年度「革新的医療技術研究開発推進事業(産学官共同型)」に係る公募(五次公募)について

【お知らせ】 医薬品・医療機器等 適合性検査 4Q1月

第79回 日本栄養・食糧学会大会

2025. 5/23・25
名古屋大学 東山キャンパス

第79回 年次大会 (名古屋)
2025年5月23-25日

IUNS-ICN 2025

第23回 国際栄養学会議 (フランス・パリ)
2025年8月24~29日

IUNS 2022 ICN TOKYO

第22回 国際栄養学会議
2022年12月6日~11日
東京国際フォーラム

第22回 国際栄養学会議
2022年12月6-11日

f IUNS-ICN 22ND

「宇宙食・健康認定士」の認定の申請手続き－2

「申請に必要な書類」

- 1) 申請書（添付のWord形式の申請書がダウンロードできるように）
- 2) 徳島大学の宇宙栄養コース修了証書のコピー（に相当するものでも可）
- 3) 『日本栄養・食糧学会誌』（和文誌）又は『Journal of Nutritional Science and Vitaminology』（英文誌）などの学術雑誌（以下、「学術雑誌」という。）に掲載された「宇宙などの特殊環境における食、栄養若しくは健康」に関する論文又は総説（ともに和文も含む。また、筆頭著者である必要はない）のコピー（一部）
- 4) 申請費(6,000円)の振り込みがわかる書類のコピー

「申請場所」

上記書類を揃えて下記まで郵送してください。

公益社団法人日本栄養・食糧学会 本部事務局 「宇宙食・健康認定士制度」係
〒171-0014

[東京都豊島区池袋3-60-5](https://www.eishokujimu@jsnfs.or.jp) フェイヴァーフィールド 池袋B03号

E-mail:eishokujimu@jsnfs.or.jp TEL:03-6902-0072 FAX:03-6902-0073

「申請期日」

毎年「宇宙食・健康認定士」認定委員会を12月に開催するため、毎年10月15日必着でお願いします。

「その他」

「宇宙食・健康認定士」認定委員会にて認定された方には、認定書をお送りいたします。認定期間は承認後5年間ですので、それ以降認定を継続されたい場合は、認定期間が終了するまでに、「更新」か「宇宙食・健康指導士」への申請が必要となります（詳細は、「更新」(作業中)か「宇宙食・健康指導士」(作業中)の項目を参照して下さい)

「宇宙食・健康認定士」の認定の申請書

(様式1)

「宇宙食・健康認定士」申請書

公益社団法人 日本栄養・食糧学会
代表理事・会長 芦田 均 殿

私は、「宇宙食・健康認定士制度に関する規程」に則り、「宇宙食・健康認定士」の資格を得るため、必要書類を添えて申請いたします。

よろしくお願い致します。

申請日	(西暦) 年 月 日
会員番号	
氏名	
連絡先住所	
電話番号 メールアドレス	

以上です。

質問のある方は、メールで下記までお問い合わせください。

徳島大学 二川健 nikawa@tokushima-u.ac.jp